

環境規制市場向け、  
高品質水質監視装置の豊富な実績

# 水処理の計測技術・計測システム

## 特徴

- 試薬を使用しない方法、UV法による連続COD計測（有害な試薬を使用しないため、排水処理が容易）
- 回転セルにより、1台で低濃度から高濃度まで測定が可能（測定範囲 0~0.5Absから5Absまで設定可能）
- ワイパ洗浄により常時セル部を洗浄する構造により、長期間メンテナンス不要で連続測定が可能

## 概要

（技術の原理・動作等）

弊社をご提案するOPSA-150（紫外線（UV）方式による水中有機物監視装置）は、日本の水質規制でCOD測定装置として、長年使用されています。

### 特徴1:紫外線吸収法

254nmの紫外線をサンプル水にあてて、その吸収を測定することによりサンプル中の有機物濃度を測定します。この有機物濃度とCODは非常によい相関があるため、使用前に相関係数をとることでCOD計として使用することができます。



### 特徴2:回転セル長 変調方式を活用したセンサ

水質による汚れの影響をゼロ点チェックすることにより、ゼロ点のドリフトがありません。

セル長の変化による指示値を多点測定することで、セル長の違いによる測定値を採取できます。



## 導入実績

- 日本:通算5,000台以上の実績  
（下水処理場、民間工場など）
- 中国:通算500台以上の実績  
（天津トヨタ様、広州ホンダ様、臨伊下水処理場様、Sony工場、松下北京様など）
- タイ:タイ三井化学様

## 効果

- ◎特に下水処理水の有機成分について、適正に処理されているかの確認
- ◎水質の環境改善を積極的に推
- ◎COD濃度を環境税と徴収に貢献

適用分野  
下水処理施設、工場排水のプロセス処理

水

省エネ・エネルギー回収

蓄エネ・創エネ  
エネルギー

新エネルギー

廃棄物処理  
再資源・省資源

大気

土壌

その他

株式会社堀場製作所 海外営業部 環境・プロセスチーム 〒610-8510 京都市南区吉祥院宮の東町2番地

● TEL / 075-313-8123 ● FAX / 075-321-5725 ● E-Mail / takeshi.kobayashi@horiba.com ● <http://www.horiba.com/>